



笠岡市議会では、3月、6月、9月、12月に定例会を行っており、どなたでも傍聴することができます。この9月定例会では、新吉中学校の2年生と真鍋・六島小学校の全校児童のみなさんが9月8日（火）の個人質問の傍聴に来られました。

児童・生徒のみなさん、先生から感想をいただきましたので、その一部をご紹介します。

市議会議場の傍聴席に着くと、室内が緊張した雰囲気だったので、少し驚きました。議員の人が質問すると、市役所の方がすぐに答えていました。今回は途中からしか見られなかったので、大人になったら最初からきちんと傍聴してみたいと思いました。



ぼくは、初めて市議会の傍聴をしました。議員さんが真剣に質問していたり、いろいろな人が答えたりしていて、すごいなあとと思いました。また、話し合いの様子をカメラで映しているのを見て、後でテレビに映すのかなあとと思いました。



市議会議場に入って、すぐに緊張感があるなあとと思いました。真剣に笠岡市のことを考えているんだなあとと思いました。議場の前に大きなタイマーが動いていて、質問の時間制限があることを初めて知りました。



ぼくは、初めて笠岡市議会の話し合いを見ました。質問をした議員さんに市の担当者の方がすぐ答えていたところがすごいと思いました。ぼくたちの学校でも学級会で話し合いをすることがあります。質問されたら、わかりやすくすぐ答えられるようにしたいです。



私は、笠岡市の議場に初めて行きました。真剣に質問されたり質問に対する答えをはっきりと言われたりしていたのですごいなと思いました。時々難しい言葉もありましたが、笠岡市のことを一生懸命に考えてくださっていることが分かりました。私たちも学校の学級会で学校や学級が豊かで楽しくなるように話し合うことができますが、参考にしたいです。



市の担当者や市議会議員の方々が、笠岡市の今や未来について真剣に議論されている姿を見ることができ大変参考になりました。子どもたちには、言葉が難しく理解しにくい面もあったと思われませんが、議場の雰囲気や議事の進行や議員さんの質問にわかりやすく答えていた市の担当者の方の対応に感心していました。



初めて議会を見学させてもらって、自分が思っていたよりも大きくて、何より話がすごく難しかったです。笠岡市のルールや、笠岡市にあるお金を今後どう使っていくかなど、議会の中で決めていることが分かりました。

